慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	後記
Sub Title	
Author	大森, 正仁(Omori, Masahito) 明石, 欽司(Akashi, Kinji)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2002
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.75, No.2 (2002. 2) ,p.309- 309
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	栗林忠男教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20020228-0309

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

後　記

栗林忠男教授のご退職に際して、慶應義塾大学と関係の深い大学関係者、および、大学院において指導を受けて研究者となっている者を中心に、このたび退職記念論文集を編集することができたのは、ひとえに関係する皆様のご協力の賜物である。お忙しい中で執筆をお引き受けくださった方々と、法学研究編集委員会委員および編集担当の堀井健司氏の献身的なご協力により、ここにこのような論文集を刊行することができたことは、大きな喜びである。

今回の論文集では、国際法専攻者に執筆を限定させていただいたため、本来であれば原稿をいただくべき法学部の専任者の方々にはお声をおかけすることができなかった。この点については御宥恕いただくことを願うばかりである。

海外にいながら、今回の企画に参加してくださった方々にも深く御礼を申し上げたい。インターネットの普及により、このようなことが可能になったと感じた次第である。また、現在大学院博士課程で指導を受けている学生諸君にも次の機会には是非参加していただくよう、これからの研鑽を心からお祈りしたいと思う。

主要著作一覧では、主に学術誌掲載の著作に限定をすることとなったが、栗林教授の国際的で柔軟な側面を映し出しているのは、ここに掲載した以外の論考であるのかもしれない。この他の多くの著作を掲載しなかった点に関してもお許しを請うばかりである。年代順に並べられた著作の一覧を拝見していると、これまで栗林教授が辿られてきた国際法における研究の道程を俯瞰することができるように思われる。行く先にどのような「国際法の未来」があるのか、ご健康に留意されてご自身の研究を進められ、我々に示されることを、執筆者一同、心よりの楽しみとするところである。一覧の作成にあたっては、大学院博士課程の小山佳枝君にお手伝いいただいた。記して感謝する次第である。

二〇〇二年二月

法学部教授　大森正仁
法学部助教授　明石欽司